

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成27年11月17日 NO.66 (266)

モンタ博士「おーい！おーい！すごいよすごいよ！花ちゃん・オー君！ニュースだ！

ニュースだ。ビックニュースなのだ。」

花ちゃん 「またまたモンタ博士。何をそんなに興奮しているのですか。」

オー君 「何かいいことがあったのですか。」

モンタ博士「もちろんさ。見つけたんだ。発見したんだ。」

花ちゃん 「何を見つけたのですか。」

オー君 「何を発見したのですか。」

モンタ博士「では、お見せしよう！ジャーン！下の写真を見てごらん！」



オー君 「あ！カブトムシの幼虫だ。」

花ちゃん 「うわあー！すごい！わたしカブトムシの幼虫を見るのは初めてです。まるまると太っていてとってもかわいいですね。」

モンタ博士「そうだろう。そうだろう。モンタ博士なんか、頼ずりしたくなっちゃうよ。」

副校長先生「ミャンマーの日本人学校にいる時は、幼虫のからあげも食べたよ。クリームコロッケみたいで、おいしかったよ。右上の写真がミャンマーの様子だよ。」



いもむしの  
素あげが  
おいしいよ！



いろいろな幼虫がいるよ。  
おいしいよ！食べてごらん！  
栄養満点なんだよ。

ミャンマーにて（笹河副校長撮影）

花ちゃん 「<sup>ふくこうちょうせんせい</sup>副校長先生！<sup>ねが</sup>お願いですから、カブトムシの<sup>ようちゅう</sup>幼虫を<sup>た</sup>食べないでくださいね。」

副校長先生 「<sup>た</sup>わかったよ。食べたりしないよ。みんなで<sup>ようちゅう</sup>幼虫を<sup>かんさつ</sup>よく観察しようね。」

オー君 「<sup>べんきょう</sup>そうだ！みんなでカブトムシについて、勉強しようよ。」

花ちゃん 「<sup>まな</sup>そうですね。クワガタムシについてもいっしょに学びましょう。」

モンタ博士 「<sup>からだ</sup>それはいいことだね。まず、それぞれの体について、<sup>き</sup>気がついたことがあれば、<sup>い</sup>どんどん言ってごらん。」

オー君 「<sup>つの</sup>カブトムシには角があるよ。」

花ちゃん 「<sup>からだ</sup>それに体もとってもかたいですね。」

オー君 「<sup>あし</sup>足をよく見ると、<sup>み</sup>フックのようなカギの<sup>かたち</sup>形をしたつめもあるよ。」

花ちゃん 「<sup>は</sup>それから、歯ブラシのようなひげのはえた口があります。」

オー君 「<sup>はな</sup>さらに、鼻の役目をする<sup>やくめ</sup>触覚があるね。クワガタムシはどうかというと。」

花ちゃん 「<sup>ほん</sup>かぶとのくわがたのような二本のはさみがあるわ。」

オー君 「<sup>おな</sup>カブトムシと同じように、<sup>からだ</sup>体がかたく、<sup>しよっかく</sup>かぎつめ、<sup>くち</sup>触覚、口もある。」

花ちゃん 「<sup>りょうほう</sup>それから、<sup>あし</sup>両方とも足が<sup>ほん</sup>6本あります。」

オー君 「<sup>はね</sup>羽は<sup>まい</sup>4枚ずつあるよ。」

花ちゃん 「<sup>あたま</sup>頭の<sup>め</sup>ところには目も2つあるよ。」

モンタ博士 「<sup>き</sup>いろいろとたくさん気がついたね。それでは、<sup>いま</sup>今からみんなで、<sup>からだ</sup>体のしくみから<sup>み</sup>くわしく見ていこう。」

花ちゃん・オー君 「わーい！ヤッター！」

<sup>じごう</sup>次号につづく・・・